LC PARTS(TRD)

MS342−11001／2／3
リヤスポイラー

取付取扱要領書

この度はＬＣ ＰＡＲＴＳ（ＴＲＤ）リヤスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合

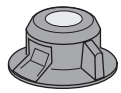
品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS342-11001-A1	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（083）	LC500 LC500h	URZ100 GWZ100	'17.03 ～	
MS342-11001-C0	ﾌﾞﾗｯｸ（212）				
MS342-11001-C2	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（223）				
MS342-11002-NP	未塗装品（ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品）				
MS342-11003	共通品（212）				

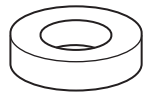
＊ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤスポイラー		1	
②	クリップナット		1	
③	パッキン		1	
④	型紙		1	Ａ３シール
⑤	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

①


②


③


④


⑤


取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。
指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が２０℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後２４時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので７０℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

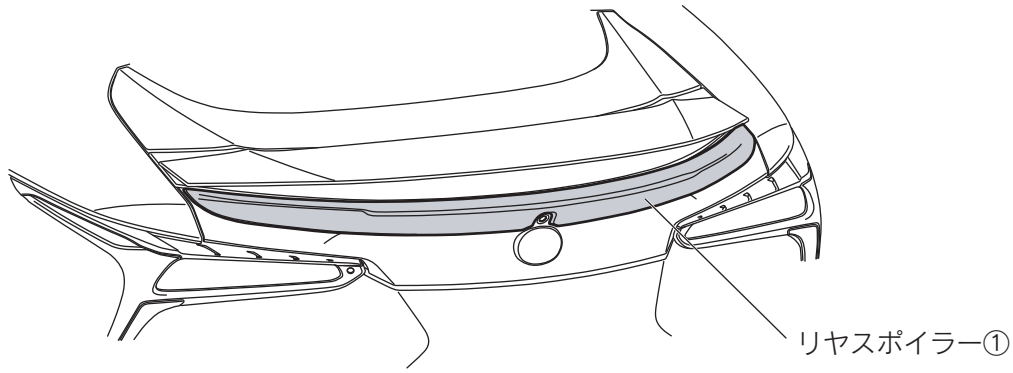
■ 目次

１．表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．取付け上のご注意(取付け作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・・３
４．取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～８
５．取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等）・ヤスリ
・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 取付構成図



■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS342-11002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

図1

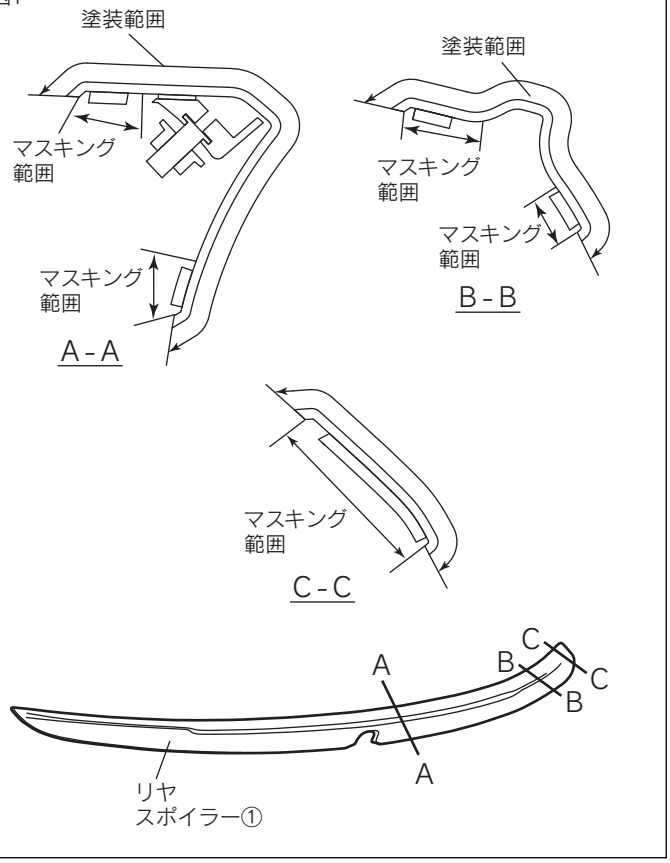


図2

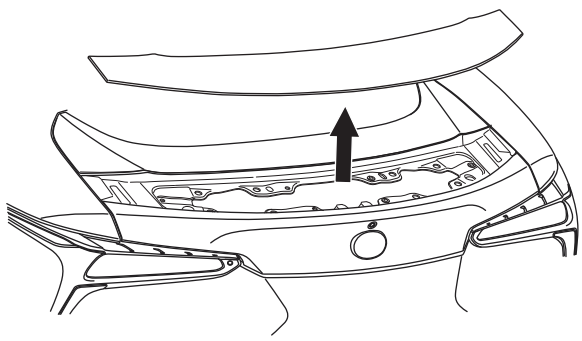
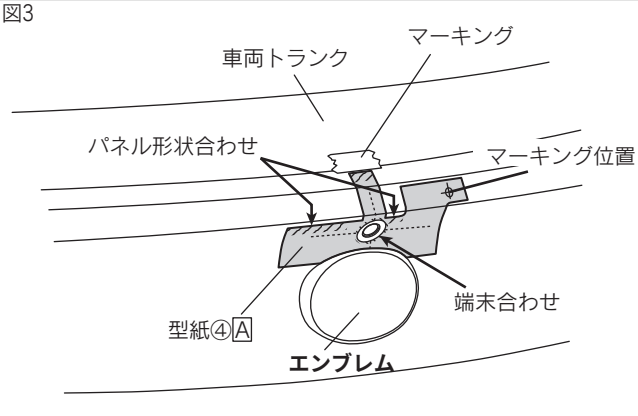


図3



□リヤスポイラーの塗装

1. 図１のようにリヤスポイラー①を塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、ＩＰＡという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を７０℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□リヤスポイラー取付準備

1. 車両トランクの内張りを取外す。

⚠注意：内張りを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

⚠注意：内張りを取外さずに穴あけ加工を行うと、トランク内の配線等を傷つけるため注意してください。

※可変ウィング仕様の場合のみ、下記２.の作業を行って下さい。

2. 図２のように、車両の可変ウィングを外す。

⚠ 注意：可変ウィングを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

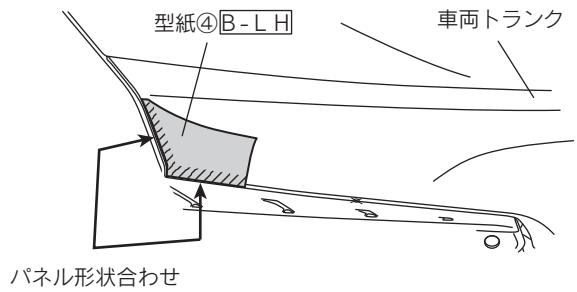
3. 図３のようにカメラ周り端末合わせとパネル形状合わせ、型紙④Aを貼付ける。

4. 図３のように、マスキングテープにてリヤスポイラー①の中央取付位置をマーキングし、穴位置にキリ等でマーキングする。

5. 型紙④Aをはがす。

アドバイス：型紙の十字ラインのタテ線が左右均等の寸法になっていることを計測して、トランクパネルのセンター位置を確認してください。

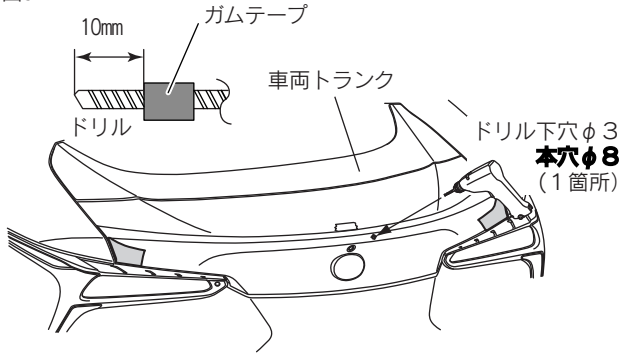
図4



6. 図４のように、車両トランクの端のパネル形状に合わせて型紙④Bを貼付ける。
（左右各１箇所）

⚠ 注意：中央取付位置のマスキングテープ、両端の型紙④Bは、リヤスポイラー①の取り付け位置出しに必要な参考位置となる為、作業終了まで剥がさないでください。

図5



7. 図５のように型紙をすべて剥がし、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10㎜の位置にガムテープを巻付け、φ３㎜、φ８㎜の順にドリルを使用して車両トランクのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。（１箇所）

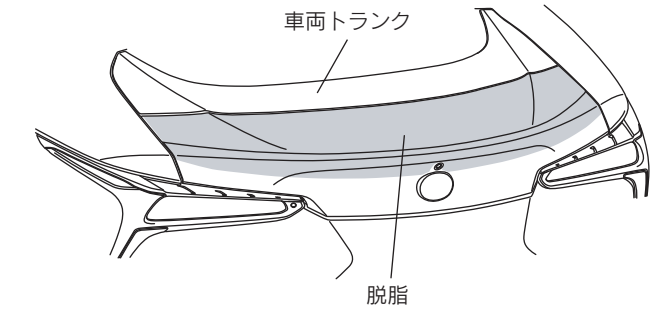
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取除いてください。

⚠注意：穴あけ加工時は、車両トランク内の配線等を傷つけないように注意してください。

図6

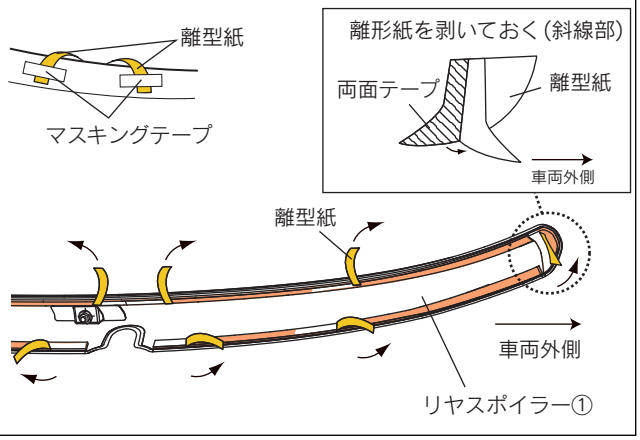


8. 図６のように車両トランクのリヤスポイラー①取付部の汚れを取り除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠注意：脱脂を行う際はＩＰＡ又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

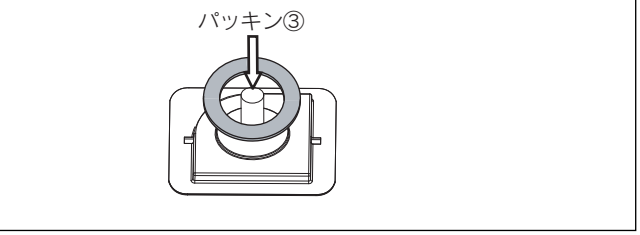
図7



9. リヤスポイラー①の両面テープの離型紙を、図７のように中央から外側に約３０㎜剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右各５箇所）

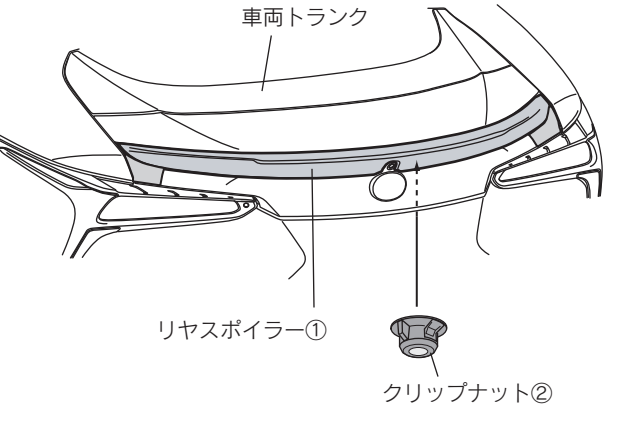
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図8



10. リヤスポイラー①のボルト座面に図８のようにパッキン③を貼付ける。（１箇所）

図9



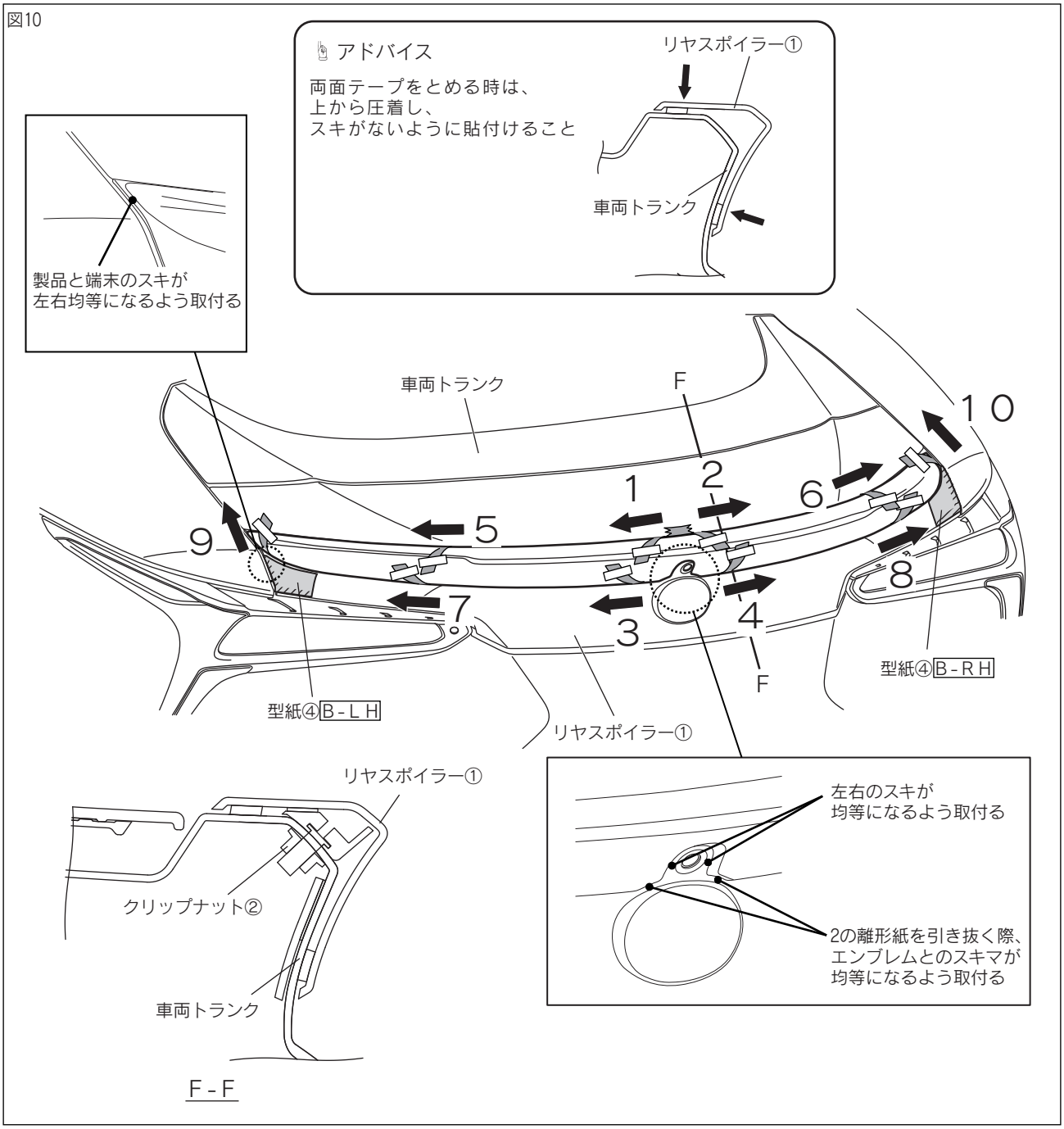
□取付要領

1. リヤスポイラー①を車両トランクに合わせ、車両トランクの内側からクリップ②を仮締めする。（１箇所）

⚠注意：クリップナット②以外のナット等での取り付けは行わないでください。

⚠注意：クリップナット②取付けの際、トランクパネルの端末で怪我しないよう、注意してください。

図10



2. 図10　のようにリヤスポイラー①が左右中心の位置にきているか両端の型紙④で確認し、上端の取付高さ位置をマスキング位置に合わせ、両面テープの離型紙(左右各５箇所)を上図番号順に剥がしながら貼付け圧着する。　**{４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上}**

3. クリップナット②を手で本締めする。

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

アドバイス：トランクスポイラーの位置決めは型紙の位置を参考に、ボディパネルの形状に押し付けるように合わせてスキが無いように行ってください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後２４時間以内は洗車しないでください。

4. 位置出し用に用いたマスキングテープと型紙を剥がす。

※可変ウィング仕様の場合のみ、下記5.の作業を行って下さい。

5. 修理書に従い、取外した可変ウィングを復元する。

⚠ 注意：可変ウィングを復元する際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

6. 修理書に従い、取外した車両トランクの内張りを復元する。

⚠注意：内張りを復元する際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

⚠注意：両面テープ接着後２４時間以内は洗車しないでください。

アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに３～５時間程度必要です。製品の取付後は最短３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取ください。

■取付完了後の点検・注意事項

1．リヤスポイラーがクリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検してください。
2．リヤスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。

脱脂作業要領書

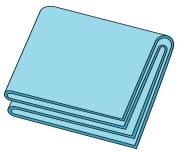
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

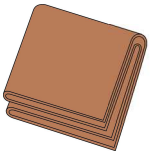
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

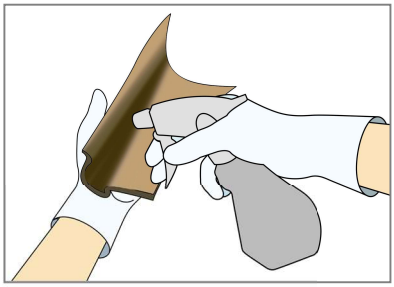

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

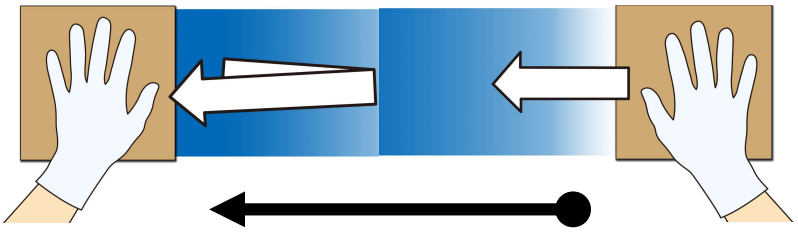


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

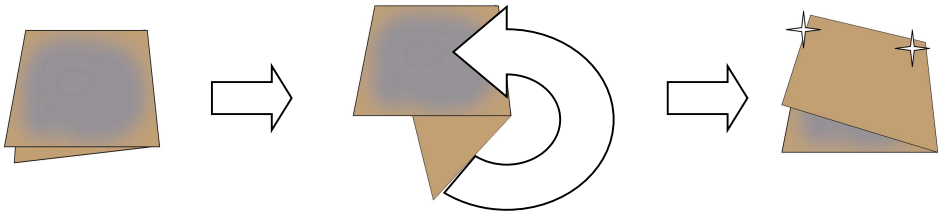
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。